

白金グローバルフェスタ報告書



1、開催日時

平成20年5月15日（金）11:00～20:00

16日（土）11:00～20:30

2、当日の作業内容

- (1) ごみ箱の作成
- (2) ごみ箱の会場搬入・設置作業
- (3) 会場内美化（ごみ拾い）
- (4) ごみの分別補助と回収
- (5) ごみ箱撤去

3、反省

- ・ごみの分別を間違えて捨てる人への対応が難しかった
- ・港区の分別とイベント時の分別が違っていた事を来場者に指摘されてしまった
- ・出店団体のごみの処理について周知していなかった
- ・ごみの分別を変更したため、不燃（ラムネのビー玉など）のごみ箱がなかった

4、提案

- ・ごみの分別方法や注意点を分かりやすく表示した看板を設置する
 - 子どもでも表示に従って分別できる
 - 港区の分別方法と違う場合でも表示に従って分別してもらえる
- ・生ごみ用のごみ箱を設置する
 - 食べ残しや飲み残し、氷などを捨てる人が多かった
 - ごみを回収する際の汁漏れを防げる
- ・割り箸、串類を別回収する
 - ごみを回収や運搬をする際、袋から串が突き出ているため危険だった
- ・事前に出店団体へごみの分別方法や集積場所を通知してもらう
 - 出店団体からの「ごみはどうすればいいか」という質問が多かった
 - 来場者用のごみ箱に捨てる出店団体がいて、ごみ箱があふれていた
- ・ごみの集積場所の安全確保をしてもらう
 - 公園だったため、子どもの遊び場となっていて危険に感じた
- ・「子ども用」と「大人用」のごみ箱の区別をわかりやすくする
 - 分かりやすい表示をはる
 - 子ども用のごみ箱をもう少し低くする
- ・準備の段階からボランティアスタッフとして参加する
 - 当日の混乱を避けることができる

4、参加者の感想（一部抜粋）

- ・ 今回はじめて、お祭りをバックアップする側に立ちましたが、すごく楽しめました。お祭りの空気をフルに感じられるので、イベントを支えるというより、一緒に参加している感が強く、むしろ2倍楽しめて、お得な感じでした。
- ・ 参加者のごみ分別に対する意識が高いと思いました。また、昨年よりも有志の人数が多かったので、一人あたりの仕事量に無理がなく、休憩もとれ、余裕をもって活動することができてよかったです。
- ・ 途中から会場のごみ分別に対して責任感を感じるようになり、休憩中にも関わらず分別されているかどうか気になりました。このイベントで学んだ経験を今後に活かしたいと思います。
- ・ 初めての仕事に戸惑いも感じましたが、数時間経過すると慣れました。来場者にごみの分別方法を教えることで、相手にうまく伝える能力など自分にもたくさん吸収できるものを見つけることができました。

4、資料写真



もえるゴミ



